

平成 30 年度第 1 回地域包括支援センター運営協議会会議録

日時：平成 30 年 8 月 1 日（水） 午後 7 時 55 分 ～ 午後 8 時 32 分

場所：二宮町役場 第 1 会議室

出席者：介護保険運営協議会委員：11 名

事務局：健康福祉部長・高齢介護課長・介護保険班長・介護保険班員 2 名・地域包括ケアシステム推進班長・地域包括ケアシステム推進班員 1 名・地域包括支援センター職員 1 名

1. 議題

- (1) 平成 29 年度地域包括支援センター事業実績報告及び地域ケア会議について
- (2) 平成 30 年度地域包括支援センター基本指針・運営指針について
- (3) その他

会議の状況

午後 7 時 55 分 開始

会 長 地域密着型サービス運営委員会に引き続き、地域包括支援センター運営協議会を行います。議題（1）平成 29 年度地域包括支援センター事業実績報告及び地域ケア会議について、事務局より説明をお願いいたします。

事務局 事業実績報告の前に、地域包括支援センター運営協議会は、例年、1 回の予定で開催しているところであります。本年度は、本日のほかに、1 月の介護保険運営協議会に併せて年 2 回の開催を予定していますので、お忙しいとは思いますがご協力のほど宜しくお願い致します。

それでは、事業実績報告に入らせていただきます。

（資料 7～10 説明）

会 長 事務局から資料の説明がありましたが、委員の皆様ご意見等ございますでしょうか。

委 員 資料 7 の地域ケア会議 5 つの機能について説明いただきましたが、その中で政策形成機能については、この地域ケア推進会議のところに位置付けられるとありましたが、そういったところをもう少し詳しくご説明いただいてよろしいでしょうか。

事務局 今回平成 29 年度の地域ケア会議の報告というところで個別のケースに関する課題、そこから見えてきた地域全体にかかわる課題のとりまとめをさせていただき報告をさせていただきました。実際には、先ほど包括支援センターから報告があったように、例えばケアマネジャーさんと地域の民生委員さんとの連携が足りないということであれば、昨年度はすぐにケアマネジャーさんと民生委員さんとの連絡会という会を開催させていただきました。すぐに開催できたり、調整できるものに関しては対応していくわけですが、地域の方のご協力や新しい支援策を検討していくとなると、かなり時間や相談機関の相手先も変わってくるかと思えます。そういった時には、介護保険運営協議会の中で報告させていただきました、生活支援体制整備事業、協議体や生活支援コーディネータが地域の方と一緒に対応策を検討していくとか、あるいは認知症総合支援事業の中でなにか取り組んでいくことはないのかというところを検討していくかたちになるかと思えます。そういった包括支援センターが行う事業全般に関して、このあたりに力を入れていったらよいのではないかとか、こういう手段がとれるのではないかとといったご意見をこの運営協議会の中でいただいて、施策に反映させていくことができればというかたちで位置付けさせていただいています。

委 員 ケア会議に関してですが話を聞くだけでその中で適当な意見を出すというのは見えな

い部分もあります。このケア会議に出られないですか？委員としてオブザーバーとしてでもいいのでどういうことをやっているのかというのを見せてもらえればわかるのかなとは思いますが。以前にも意見が出たと思いますが、そのあたりを少し検討していただいて見学等させていただけたらと思います。

事務局 昨年度、さらにその前年度にもご意見をいただいた部分かと思えます。実際みなさんどうぞというオープンな形ではないのですが、個別の事例に関して、事例提供いただいているケアマネジャーさんのご希望ですとかご相談の中でこういった方々にもご出席をいただくとより効果的ではないかというところで、各関係機関の方にお声掛けをさせていただいている状況ではあります。実は委員の方にご出席をいただいたりですとか、病院のリハビリスタッフにご出席いただいたりというかたちで、かなり出席いただく職種の方の幅は広がってきている状況にはなっております。また、個別の事例を扱う会議ではなく、いろいろな方がいろいろな方とのネットワークを広めるような会議というものも、平成30年度は2回だけにはなってしまうのですが、皆さんが参加しやすい夜の時間帯で開催することも検討しているところであります。

委員 それには希望すれば参加して見させていただくことができるということですね。

事務局 運協の皆様へ通知を出すといったことも検討していきたいと思えます。

委員 構想だけ聞いていても何も見えていないのに、なにか意見を出せと言われても年1回2回ではわからない部分もあるので、できれば実際に目でみるのが大事かなと以前から思っておりますのでよろしくお願いたします。

事務局 これは結構重要なテーマになっているので地域包括ケアシステム推進班で対応いたします。

委員 包括支援センターにいろいろな方が相談にみえると思えますが、その内容で何か問題点みたいなものをこの場ですべて出させていただくことはどうですか？結局、包括支援センターでどういうことを解決したり、どういうことを皆さんが望んでいるけれどもそれが足りないだとか、問題点がどこか見えない気がします。包括支援センターでは二宮町の全体のサービスを一括してその課題みたいなものを具体的なものを出していただければと思うのですが。

事務局 今、具体的には分析はしていないのですが、やはり後期高齢の方が増えてきていますので認知症の方の負担がかなり増えているというのは実情であります。認定の推移をみますと要介護1の軽度で体は元気だけれども少し認知症という方の割合が増えているのかなというのと、介護保険の申請をしてない方、お医者さんにかかってない方であった

りとか、そういった方がそこまでは多くはない現状ですけれども、そういった方の対応を確認だとか、あとはやはりご親族がいらっしゃる方の対応が難しいというのがあります。急に動けなくなってしまったとか医師からお一人暮らしで困っている方の連絡もあります。あとはケアマネジャーからあがってくるケア会議で上がった事例としては、やはり介護をされている方のいろいろな社会的背景や経済的問題もしくは障がいをもっていらっしゃる方の対応、そういった事案を地域ケア会議で、多職種で話し合いながらどういう風に過ごしていくかを考えていきます。

会 長 その他何かございますでしょうか。

(意見なし)

会 長 続きまして、議題（2）平成 30 年度地域包括支援センター基本指針・運営指針について、事務局より説明をお願いいたします。

事務局 （資料 11 説明）

会 長 質問はございますでしょうか。

(意見なし)

会 長 では引き続き議題（3）その他について担当よりお願いします。

事務局 地域密着型サービス運営委員会と地域包括支援センター運営協議会ですが、現在町の要綱で運営しているのですけれども、来年度から条例化する方向で検討しています。なぜかといいますと、近年町の方で附属機関として類されている協議体や委員会については条例にて定義しなさいという下級審での裁判例が複数あげられていることが、その理由となっております。地域密着型サービス運営委員会と地域包括支援センター運営協議会につきましても同様の協議会の仲間になりますので条例化する方向で進めております。スケジュール的には 12 月の議会で上程させていただくかたちで、内容につきましては、ほぼ現行の内容で条例化していきたいと思いますので、次回の協議会のときに定められた条例につきましてお示しをさせていただきたいと思いますのでよろしくをお願いいたします。

会 長 他にご意見等ないようですので、これで本年度の地域包括支援センター運営協議会を終了いたします。これですべての協議会が終了いたしました。全体を通してなにかありますか？

委員 我が家のことになりますが、認定調査をお願いしましたら、その認定調査が一か月後になると言われ驚きました。今、認定調査員は 4 名ですが調査がスムーズにいていないのか、それとも人数を増やした方がいいということなののでしょうか？

事務局 今後、認定期間を最長 3 年を検討しているところなので、おそらく今が一番ピークの時期になるのかと思っております。お待たせしてしまって申し訳ないと思っておりますが、待ち時間を徐々に減らしていくようにしたいと考えております。

事務局 延長に関しては、また認定審査会の委員の先生方と相談をさせていただきたいと思っております。

委員 通いの場で食事が出している地区があるということをごらんと聞いたのですがそういう地区はあるのですか？

事務局 そうですね。昨年移行した当初から、前年度まで使っていたミニデイサービスの形をできるだけ崩さないようにと、お弁当をとる日というのを続けてらっしゃる地区もございます。

委員 そうするのは地区に任せているということですか？

事務局 そういかたちがあるといいだろうなという思いはありますが、地区の方のご負担とご相談になるかと思えます。

委員 以前は食べるのが大事ということでそのようなサービスもしていたと思いますが、今はおしゃべりをしたり運動したりが中心のかたちになっていますよね。月に一回でもあって一緒に食事をするというのはいいことだと思うのですが、今後そういったサービスを考えるはいませんか。通いの場ではなかなか難しいのでしょうか。

委員 私は一色の方ですが、通いの場で月に一度だけ当日参加された方のご希望で食事をとるというサービスをやっています。やはり独居の方などは一人で食事をするのは侘しいことだよというような話も伺っていましたので、月に一回だけでもということでやっておりますが、通いの場に来られる方は不特定多数ですので予約が必要なそういったサービスはなかなか難しいのかなと思えます。

委員 お弁当に関してですが、老人クラブやゆめクラブなどでも同じようにそのような食事のシステムを考えているのですが、その中で聞いている話では、有償で 500 円ずつ集めてこのような食事をいつやりますというかたちで月一回程度計画して、それを役員が代金を徴収、手配をして提供するというのが、とても人気があるそうです。ですが、これを

食事まで町がお金をだして行うというのは難しいのではないかと私は思います。自己負担でならば是非こういったサービスはいいことだと思います。

委員 認知症のお年寄りが増えている一方で元気なお年寄りも増えています。仕事はできないけれどボランティアなら参加したいという方もいらっしゃると思います。きちんと提供できる場所の確保なんかが大変ということがあり踏み切れないということもありますが、そういう活動をしたと思っている方は結構いると思います。あまりお金をかけないで、うまく元気な高齢者のパワーを活用していく方法を考えながら認知症の方々にとっても有効なサービスを包括支援センターの方でも考えていただいて取り組んでいければと思います。

事務局 今年度、認知症カフェなど新しい取り組みも始まり、今月末には通いの場の運営の役員方を集めて情報交換会というのもやりますのでそういった時にも意見をうかがっていききたいと思います。

会長 それでは、これで平成 30 年度第 1 回地域包括支援センター運営協議会を終了いたします。

本日は夜遅い中ご参加いただき誠にありがとうございました。

午後 8 時 32 分閉会